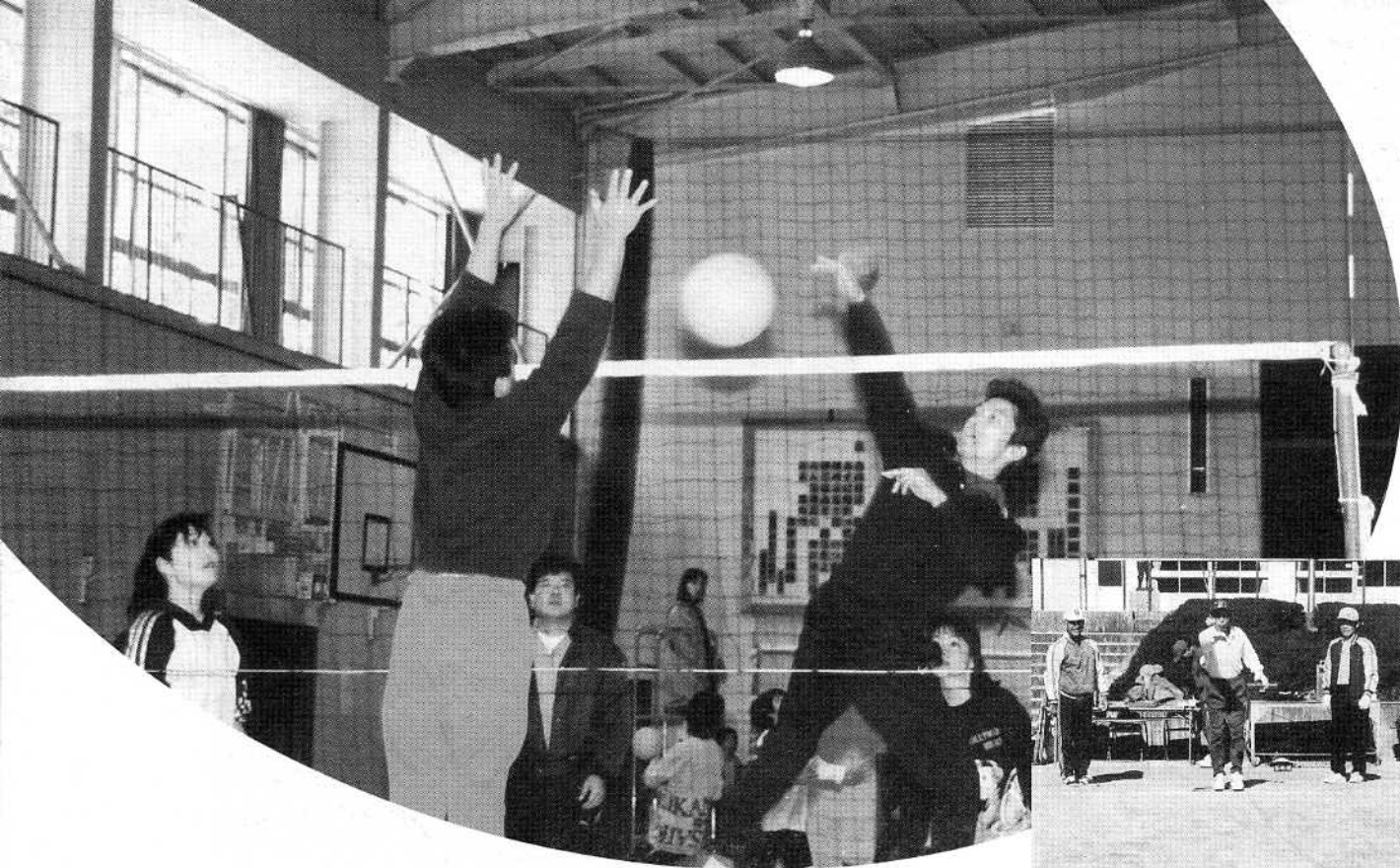




▲アタックもブロックもプロさながら！
ソフトバレーボール

スポーツの秋を堪能！ ふれあいスポーツ大会

第2回ふれあいスポーツ大会が11月24日、東白川小学校の体育館と運動場を会場に開催、ソフトバレーボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフの三種目で熱い戦いが繰り広げられました。

結果は次のとおり。（敬称略）

▼ソフトバレーボール【女子の部】①おばんクラブ ②こんな私に誰がした（下野） ③はなのき

【トリムの部】①トム&ジェリー ②タイガース ③こすもす

【ファミリーの部】①共同理容院ズ（陰地） ②田口ファミリー（上佐見） ③神戸ファミリー（平）

▼ペタンク／①みちくさ ②つちのこ（平） ③平東オバタリアンB

▼グラウンド・ゴルフ／①安江紳次（大明神） ②村雲忠夫（神付） ③斎藤玉恵（平）



▲最近、人気上昇中のペタンク



▲ゲートボールとパターゴルフを足して2で割ったような競技、グラウンド・ゴルフ。

広報

1996 12 No.426
平成8年

ひがししらかわ

人口の動き	
—11月末住民登録人口から—	
世帯数	896 世帯
人口	3,311人
転入	4人
転出	4人
出生	1人
死亡	2人
先月と比較して1人減	
昨年と同月と比較して56人減	

119番

この電話が
鳴らないことを祈ります。



平成七年度の可茂管内で発生した火災は百六件。おもな原因は、たき火が十四件、たばこが十件、天ぷら油による火災が五件と続いています。過去十年を見ても、同じようなデータが出ており、いづれも、火の不始末によって発生したものです。

今回は、火災から皆さんの命や財産を守るために、日夜、訓練を重ね、予防活動に力を注いでいる可茂消防事務組合と東白川村消防団にスポットをあててみました。

可茂消防事務組合東消防署

東白川分遣所の一日

美濃加茂市、可児市、加茂郡可児市の十一市町村を管轄するのは可茂消防事務組合。中でも本村を守っているのは白川町にある東消防署の皆さんで、三人体制で東白川分遣所に勤務します。朝八時三十分、前日から勤務をされた人たちと引き継ぎをします。

この日、分遣所で待機するのは後藤健夫消防司令補、渡辺昭宏消防士長、新田倫之消防士の三人です。

まずは車両の点検。エンジン、サイレン、ライトなどすべて正常であるかを確認します。

そのあと、全員揃って消防体操。出勤に備えて身体も柔軟にしておかなければいけません。

準備ができたあとは、いつでも緊急出勤ができるように所内で待機します。午前九時、無線テストを開始。現在



朝8時30分に車両等の点検を行います

本村からのNTT一九番は、東消防署に入り、分遣所へは専用回線で連絡が届くシステム。しかし、巡回活動などで出払っている場合は、消防自動車や救急車に設置してある無線に連絡が入ります。そのため、無線は重要な連絡手段であり、毎日のテストは欠かせません。

午前十時、村内の巡回活動。巡回活動は、防火に対する村民への啓蒙だけでなく、消防自動車や救急車が少しでも早く現場に到着できるように工事箇所を確認も怠りません。また、水利や消火栓の位置も頭にいれておきます。

「最初に来たときは、村の道が分からず非番の日も出てきて村内を回って確認した」とは、坂祝町から通勤され



村内の枯れ草の多い所を巡視している様子

る消防署に入って十四年目の渡辺消防士長。渡辺さんはもとより消防署の皆さんは、勤務外でもこうした努力を欠かさないようです。

一時間半ほどで巡回を終えた三人はそろそろ昼食時間。「美濃加茂の中署では出勤が多く、昼食もともに食べられませんよ」とにこやかに話す渡辺さん。どうやらここではゆっくり食えることができるようです。

午後一時、洗車。消防自動車や救急車はいつも清潔にしておきます。特にケガ人や病人を搬送する救急車は清潔を保たなければなりません。

午後二時、救急訓練。救急隊員の資格には百三十五時間の救急課程に、さらに百十五時間の訓練を加えた救急二課程があります。

この救急二課程を終了した消防士は、心電図、血圧測定、血中酸素濃度の測定など医療器具の使用が認め

られます。

後藤消防司令補

と渡辺消防士長は、

この資格を持ち、

入署四年目の新田消防士を

交えて、訓練を行いました。

救急業務には、人の命がかかっています。ケガ人を搬送するとき、医師と無線連絡で適切な処置をしなければなりません。また、病院側もケガ人の状態が分かれば素早く対応ができます。

去る十一月二十二日には、白川町の

大正河原キャンプ場にて東消防署管内の署員三十九名が白熱した訓練を実施しました。この日は消防長の特別点検とあって少し緊張気味のようでしたが、自動車衝突事故による車両火災発生という想定で行われた消火活動、人命救助、搬送、報告といった訓練は本番さながらに行われました。こうした大掛かりなものに加え、日ごろの小さな訓練が大切な命を守っているのです。

このような訓練を重ねている消防士の皆さんも「建物火災のとき、落雷で生きたところがなかった」とは、消防歴二十一年目のベテラン、後藤さん。また、「二階の床板が抜けて落ちそうになった」とこちらも危険なおもいを



救急の場合、医療器具も使えなければいけません



白川町大正河原キャンプ場で行われた消防長特別点検の一コマ

している渡辺さん。

二人の長年の消防活動の中には、自分の命さえ落としかねないこともあったようです。

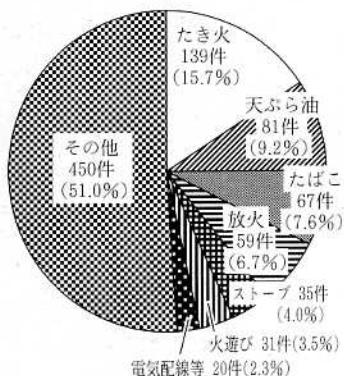
こうした先輩たちに囲まれて、日夜訓練を重ねる新田さんは「先輩たちのように適切な判断が即座にできる消防士になりたい」と希望に燃えていました。こうして消防士の皆さんは、人の命や財産を守ることを使命とし、日夜消防活動に励んでいるのです。

午後四時四十分、東消防署からの一報で可児市で建物火災発生。安否が気遣われます。

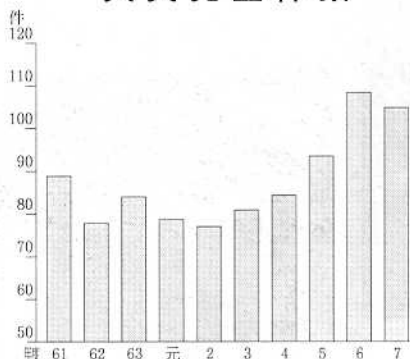
最後に「訓練は「いざ」という時のため、火災はゼロであってほしい」と話してくれた後藤さんの願いは、消防士全員の気持ちでもあるようです。

時間は午後五時、明朝八時三十分までは、三人の消防士が村を守ります。どうやら長い夜になりそうです。

火災原因



火災発生件数



火災原因の

トップはたき火

可茂管内の平成七年度までの過去十年間に発生した火災は、発生件数が八百八十二件。本村では、十三件発生しています。

火災原因は、たき火、天ぷら油、たばこの不始末とちよとした油断が火災の発生をまねいています。

伝統を受け継ぐ

東白川村消防団

東白川村のようなへき地になると消防団はとも重要なになってきます。火災が発生した場合、都会とちがって分遣所には、消防自動車が一台中、東消防署から応援が駆け付け

ても村へ来るだけでも数十分はかかり、被害を最小限に抑えるためにも、消防団には重要な任務が課せられています。

消防団も消

防署と同じように、訓練や予防といった活動を行っています。消防団の一年間の活動は、春季訓練、村の操法大会、加茂郡操法大会、夏季訓練、秋季訓練、加茂郡連合演習などの訓練のほか、年三回、各家庭を訪問し、火災防止の啓蒙を行う予防調査や年末特別警戒などの予防にも努めています。また、月に一度、ポンプ整備を行い、緊急出動に備えています。

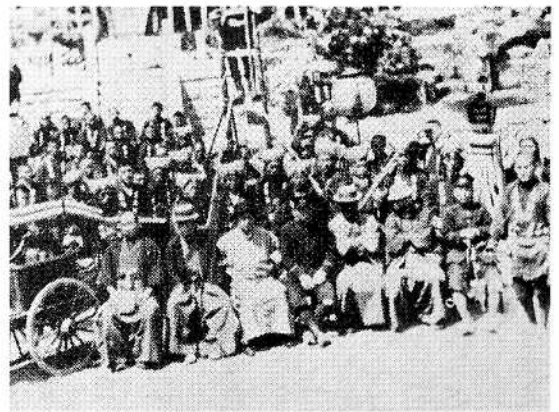
こうした主な活動以外にも、数々の講習会や消防学校に入校するなどして消防技術を身に付けています。

このような消防団活動は昔から行われており、村の男性のほとんどは、消防団を経験し、その伝統が受け継がれてきています。

東白川村消防団の伝統は古く、明治



▲ 5月26日に総合運動場で
行われた第32回東白川村操法大会



明治45年に組織された消防組の発会式

四十五年に神土平の有志をもって結成された東白川村消防組が消防団の始まりです。

この消防組は私設組織として結成され、腕用ポンプ二台を装備して防火・防災に務めていました。

その活躍を村当局も組織の重要性や任務の重大さを認め、大口や上親田の一部を加えて公設組織となりました。

大正十三年に五加、十五年には、越原下区、昭和二年には、越原上区が加わり、名実共に、村全域にわたる消防組織ができました。

日華事変勃発後、強力な警防体制を整えるために、従来の消防組を改組し新たに、東白川村警防団が結成されました。

しかし、戦局は次第に激化し、太平洋戦争にまで発展、団員の多くは戦地

へと行き、団の機能が低下する中、高齢者を補填するなど郷土を守ることに励みました。

昭和二十年八月、終戦により若い団員が復員、組織も若返り消防ポンプ自動車等新調するなどの復旧に努め、昭和二十二年には、東白川村警防団に代わって東白川村消防団が発足し、郷土の防火・防災、人命救助を担ってきました。

「へき地」という宿命の中で生まれた「自分たちの村は自分たちで守る」という意識は伝統的なもので、安江美好団長をはじめ、百六十六名の団員たちは、団員意識を持って、消防団活動に励んでいます。

しかし、年々すすむ人口の減少にともない、このままでいくと「消防団員の定員割れ」が予測され、消防団もこうした大きな課題を抱えています。



9月8日に五加地区で山林火災を
想定して行われた夏季訓練

現在、東白川分遣所には、三名の職員しかいません。火災等の場合は、東消防署からも出動しますが、時間がかかるため消防団や地域の皆さんの協力が必要です。できれば自警団等を組織し、災害に備えて欲しい。



林信行東消防署長



安江美好消防団長

消防団は、地域防災として活動しているが、各家庭でも予防に心がけて欲しい。火災以外の災害が発生した場合は、お互い協力し合い、立ち向かう気持を持って欲しい。消防団の定年延長については検討しています。

災害に備え 充実する防災設備

平成七年一月に多くの犠牲者を出した阪神大震災を教訓に、全国の各自治体では、より一層の防災設備が整備されています。

本村でも、災害時の救助活動のために、干ばつ用ポリタンク、防災ライト、ヘルメット、スコップなどの防災資材を備蓄。また、通信は、従来まで有線電話、トランシーバーが主体でありましたが、緊急時の情報をより正確に素早くキャッチするためには、新しい通信システムが必要と、平成七年度に防災行政無線を設置しました。

この防災行政無線は、役場を基地局に各集落の組長さん宅、消防団正副団長、消防ポンプ自動車、役場の各車両



12月1日に行われた消火栓の取り扱い説明会

等に備え付けられ、重要な連絡網としての役割を果たします。

この無線システムは、山林火災など連絡手段の無い所で、従来のトランシーバーに比べて威力を発揮するため、消防団からも強い要望が出ていました。

また、村内のあちこちで目にする消火栓と赤いボックス。これは、簡易水道の整備に合わせて平成八年度末までに二百三基が設置される予定で、来年度には四十四基が計画されています。

ボックスの中には、三本のホースと簡易が備えてあり、半径六十メートルの消火活動ができるようになっています。

やはり火災発生時に、被害を最小限に抑えるためには初期消火が大切です。

十二月一日には、村内の三会場では消火栓の取り扱い説明会が行われ、普段、家にいることが多い婦人の方やお年寄りが訓練を兼ねた実践を行いました。

どこの会場も多数の方が参加し、消防団員の説明に終始熱心

に耳を傾け、消防署や消防団が駆け付ける前に、少しでも初期消火に努めたという気持が表れていました。

この説明会に参加した日向の安江万利子さんは、「いざという時は、自分でやらなければならぬ。訓練も重ねてやれば使い方も覚えられ、防火意識も高まる」と話してくれました。

昭和四十三年の八・一七豪雨の災害以来、村は大きな災害にみまわれておりませんが、災害の発生は予知できないからこそ、普段からの準備や訓練が必要で、「自分たちの村、地域、家は自分たちで守る」という意識に心掛けていきたいものです。



▲防災行政無線の
基地局と子機

今年で17回を数える「東白川村産業祭」も

昨年「秋フェスタ」と名を変えて、11

月17日にこもれびの里で開催され、約3,800

人の皆さんが来場しました。



今年のテーマは「出あい・ふれあい・語りあい」。どんな催しがあるか楽しみです。

朝から大勢の人、ひと、ヒト。

メイン会場は、はなのき会館の大駐車場。ここには多くの食べ物の店が並び、朝食を抜いた方には、もう天国のよう。あちらから焼き肉の匂い、こちらから焼きそばやたこ焼の匂い、目の前には、はなのき茶屋の饅頭と、全部お腹の中に入れてみたいものばかり。また目をよくこすって見てみると、建設課の皆さんがラーメン屋をしているではないですか。そうです、村は平成七年から簡易水道の給水が開始され、水道水でもおいしいよ”とPRで開いたお店です。店内を覗くと、慣れない手付きのおにいさんたちが、一生懸命に



麵を湯がいていました。

今年「交流」がテーマということで本村と友好のある三重県香良洲町と愛知県南知多町のアジヤワカメたちも干物にされて遠くこの山の中で並んでいました。またふるさと企画の「いい仲間ツアール」での名古屋の婦人会四十五名の皆さんと前日からこもれびの館に宿泊した二十名のお客さん、東白川建築協同組合が招待した三十五名の皆さんは、この秋フェスタを楽しみにしていたようで、手さげ袋や段ボール箱にたくさん野菜を買い物し、田舎の秋を満喫しているようでした。

このメイン会場には、特設ステージが設けられ、その前では、何だか大勢の人ばかり。変な服を着たおにいさんが風船でアヒルやブードルを作ったりコマを投げたりして、みんなを楽しませていました。この人たちは、大道芸パフォーマンズの皆さんで、三人で交

村の産業振興に功績のあった

七人を表彰

開会式では、村の産業振興に功績のあった功労者と精励者への表彰が行われました。

★産業振興功労賞

(敬称略)

【林業振興】今井

一雄(大沢)【商

工振興】荻田良平

(陰地)【茶業振

興】熊崎進(下野)

【園芸振興】松岡

進(日向)【村お

こし】安江建夫(平)

★産業振興奨励賞(敬称略)

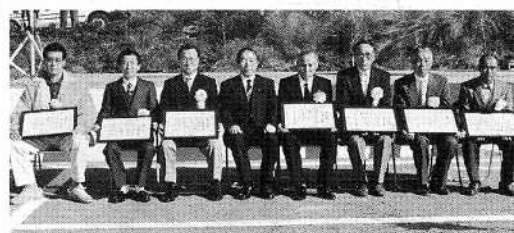
【村おこし】村雲辰善(下親田)

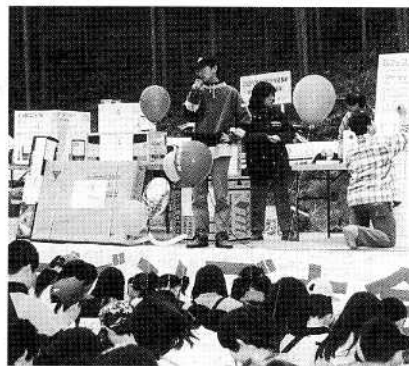
【商工振興】安江喜重(黒瀨)

代に芸を披露してくれました。

展示物のほとんどは、はなのき別館で、入口を入った左側の部屋では、健康の相談を受けていました。その隣では、食改協の皆さんが骨に良い食品を販売。骨に良いものは、”頭にも良いかな?”と試食をひとくちペロリ。

一番奥のホールには、たくさんさんの展示物。花の写真展やギネス東白川何で





▲豪華景品の大ビンゴ大会
おとなも子どもも大フィーバー！

も村一番、農家の皆さんが丹念に育てた農産物の品評会、年金相談や園芸相談、ホールの入口では、懐かしい駄菓子販売、アニメビデオも上映されていました。この会場でもやはりテーマに沿った「おらが村の特産品自慢」、よくぞ集めた県下三十村の特産品の品物が「おらが一番」とでも言いたそうに並んでいました。

はなのき会館前の会場では、子どもたちが、自慢のマシンをチューンアップ。今、はやりのミニ四駆、東白川グランプリが開催されていました。

もちろん、遠くは、愛知県や岐阜市からのエントリー目にも止まらぬ速さで、ヘアピンカーブを駆け抜けるマシンに子どもたちは思わず絶叫していました。

この激戦を制したモンスターマシンのスペシャルドライバーは久須見の五十川旭伸さん。二位、三位には

可児市から来た、風岡兄弟が入賞。このコーナーも子どもたちの「ふれあいの場」として、テントの中はあふれんばかりの人だかりとなっていました。

そのほか農業や林業機械の展示販売、手話講座、首都機能移転のPR、また遊びのコーナーでは、東白川村のなぞなぞや毎年豪華賞品で超人気のビンゴゲームも、大いに賑っていました。

今年は、一般駐車場とした総合運動場からのシャトルバスも増便するほどのサービスマス。内容も一層趣向を凝らし、テーマに沿った催しが盛り沢山に行われ、この日、訪れた約三千八百人の皆さんは、充実した一日に満足されたようです。最後は、農協のくじも投げでフィナーレとなりました。

可児市から来た、風岡兄弟が入賞。このコーナーも子どもたちの「ふれあいの場」として、テントの中はあふれんばかりの人だかりとなっていました。

そのほか農業や林業機械の展示販売、手話講座、首都機能移転のPR、また遊びのコーナーでは、東白川村のなぞなぞや毎年豪華賞品で超人気のビンゴゲームも、大いに賑っていました。

今年は、一般駐車場とした総合運動場からのシャトルバスも増便するほどのサービスマス。内容も一層趣向を凝らし、テーマに沿った催しが盛り沢山に行われ、この日、訪れた約三千八百人の皆さんは、充実した一日に満足されたようです。最後は、農協のくじも投げでフィナーレとなりました。



▲ラガードリムの皆さんは焼き鳥と焼きおにぎりを販売

▲栄冠に輝いた五十川旭伸さんと可児市から来た風岡兄弟



▲香良洲町と南知多町の物産店



▲県下三十村の特産品が勢揃い



長さ、重さの新記録を持つ山口貞美さんのアユ



▲認定記録 104 点を展示

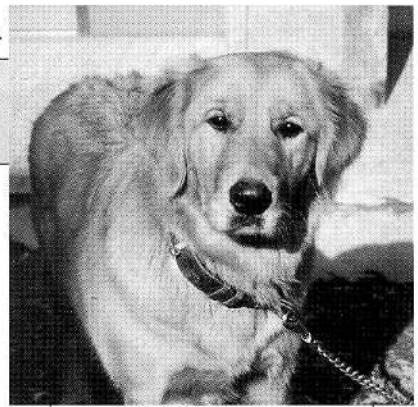
「ギネス東白川何でも村一番」に
八点、五人が認定

毎年、色々なものでチャレンジをしていただく「ギネス東白川何でも村一番」。今年は、新規、更新、ともに四点が認定されました。

(敬称略)

▼白菜／重さ十・四キ(松岡勝) ▼ヒヨウタン／重さ九キ(田口安幸) ▼きゅうり／重さ九百キ(松岡勝) ▼サファニア／草丈百キ(村雲三千子) ▼にんにくの茎／草丈百四十三キ(近藤富雄) ▼月見草／草丈二百四十五キ ▼アユ／長さ二十八キ重さ二百八十五キ(山口貞美)

元気村の『出来事情報』



近所で人気者のルナちゃん
下野：今井日出明さん



車イスを受け取られる
伊佐治事務長

人ホーム「サンシャイン美濃白川」を訪れ、車イス一台を寄付されました。
現在、この施設には、本村から五人の方が入所。「こうしたことで少しでも役に立てれば」と有瑠美会代表の神戸啓子さん（平）。同施設の伊佐治事務長は、「車イスは必要でありがたい」と喜んで受け取られました。そのあと、有瑠美会の皆さんは、施設内を見学、訪問は今回が初めてとあって施設の充実ぶりに関心をされていました。

また、偶然にも知人が入所、久しぶりの対面に手を取り合っ
て感動をされるといった一幕もありました。



施設内を見学する
有瑠美会の皆さん

寄付
アルミ缶を回収して
車椅子をプレゼント!!

アルミ缶のリサイクル活動を行っている有瑠美会の皆さんが十一月十三日に白川町の特別養護老人ホーム「サンシャイン美濃白川」を訪れ、車イス一台を寄付されました。

講義
「痴呆を共に考えよう」
と講演会を開催



院長の話を真剣に聞く、参加者の皆さん

と皆さんも感じていませんか？

十一月十三日、はなのき別館において、「痴呆を共に考えるつどい講演会」が川辺やすらぎクリニックの今井浩達院長を講師に招いて行われました。

痴呆症は、今は健康であっても、いつ身内がなるかわからない病気で、参加した四十人の皆さんは真剣な眼差しで話に耳を傾けました。

痴呆の原因は、脳血腫や脳梗塞、アルツハイマーといったものが多く、また、慢性的なものは早期発見が困難だそうです。

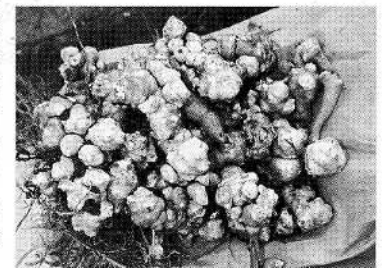
「風邪をひいただけでもボケてしまう。心身ともに健康な状態にしておくこと。身近に痴呆老人がいる場合は、みんなで支えよう」と院長は話されました。



痴呆老人は地域のみんなで支えようと熱弁をふるう今井浩達院長

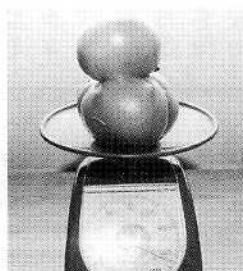
挑戦
またまた出てきた
ギネスにチャレンジ!!

ギネス東白川何でも村一番の認定委員会のあとも、またまたたくさんの挑戦者ができました。



安江末男さんの菊いも

エントリーNo.一番：日向の安江末男さん。一株九・六の菊いも。今までにこの作物での認定は無く、新規でチャレンジします。



一つか二つか
どちらでしょう？

エントリーNo.二番：下親田の田口英子さん。「重さ六百五十のトマト。記録は昭和六十一年に認定された六百三十ですが、保持者が不明のあわれないトマトです。しかし、英子さんの双子のため、認定委員会に委ねます。

エントリーNo.三番：数え切れぬ柿。この柿は、下親田の村雲次郎さん。「ギネスに：」と一報。とんで行くと、すだれのような無数の柿は見とれるほどの鮮やかさですが、ギネスだけは勘弁願います。



ほとんどが鳥のエサになるとか
親田の鳥は幸せです

話題集まれ!



東海農政局長から表彰状の授与

この表彰は、地域における連帯感やコミュニティ活動への取り組みなどを評価するもので親田地区は「つちのこ捜索大作戦」はもとより村の行事にも積極的に参加、また、若者が定住できるような環境づくりを地域ぐるみで行ってきた点などが高く評価をされたものです。

安江計幸さんは「地区のみんなと一致団結して、一層むらづくりに励みたい」と今後の意気込みを話してくれました。

親田地区が
東海農政局長賞を受賞!!

評価

昭和五十四年から毎年、農林水産省などが主催している「豊かな村」



東海農政局の現地調査に
応対する地元の皆さん



合唱に手話を取り入れて発表する
四年生の皆さん

音楽指導をしてきた岩井伸典先生も「すばらしい」と高い評価。学年ごとの、約二ヶ月間の練習の成果は、どうやら発揮できたようです。

また、客席のお父さんやお母さんたちは、おしめない拍手を贈り、子どもたちの成長に満足されたようでした。

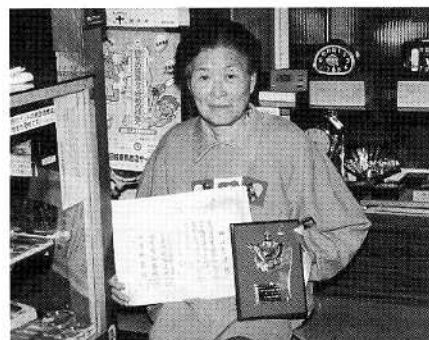
音楽指導の先生も絶賛!!
東白川小学校音楽発表会

発表

十一月三十日は、なのき会館で東白川小学校の音楽発表会が行なわれました。児童たちは始まる前から「お父さん、お母さん来てるかなあ」とそわそわガヤガヤ。



「さんびきのこぶた」の音楽劇を
発表する一年生の皆さん



受賞に喜ぶ田口恵津さん

「今回の受賞は皆さんのおかげ、私から読書を取った何が残らないから、ただ続けてきただけ」と謙虚に喜びの声を聞かせてくれました。

開会式では、はぐるま委員長長の五十川旭伸さんが「練習の成果を発揮しよう」とあいさつ。発表会では一年生の可愛らしい音楽劇や「昼休みに練習をした」という六年生の合唱や合奏。また、四年生は「障害者の気持を考えて」と手話を取り入れた合唱を聞かせてくれました。曲は、全部で二十曲が披露され、児童たちの音楽指導をしてきた岩井伸典先生も「すばらしい」と高い評価。学年ごとの、約二ヶ月間の練習の成果は、どうやら発揮できたようでした。

また、村に図書室が出来て以来、清掃に務めるなどボランティア活動も行っています。

この読書講座は、現在十九名が参加し、読んだ本の感想を話し合いながら、読書の普及と親睦を深めているサークルです。

「子どものころから本が好きで、姉さんが借りてきた本を朝までかかって読んだ」という田口さんは、今でも年間に百冊は読んでいる読書愛好家。

今までに読んだ本は
数千冊!!

読書

本は、自分をストーリーの中へ誘ってくれたり、また、続きがどうしても知りたく「夜ふかしした」という経験を皆さんもお持ちでは。去る十一月十四日、平の田口恵津さんが岐阜県読書サークル・読書推進協議会から読書活動の功労者として、表彰されました。

田口さんは、昭和五十六年に本村で開催された可茂地区読書大会をきっかけに発足された読書講座のリーダーとして、仲間づくりや資料提供をこまめに行った功績が今回認められたものです。

なごやか村の『人情報』

お便り



「こんにゃくのぬくもり」

名古屋市熱田区

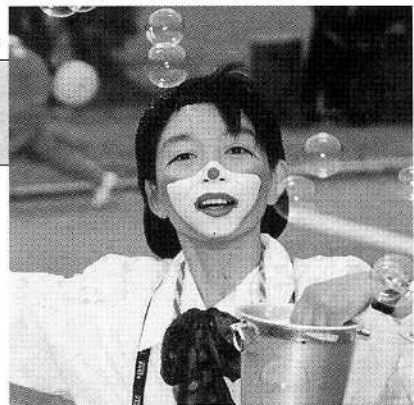
いい仲、田舎体験ツアー参加者 酒井 慶子



酒井 慶子さん
(こもれびの館にて)

村に信号が無くて、できたてのこんにゃくのぬくもりがあります。スタッフの方々のぬくもりです。私たちは、そのぬくもりが大好きなのです。

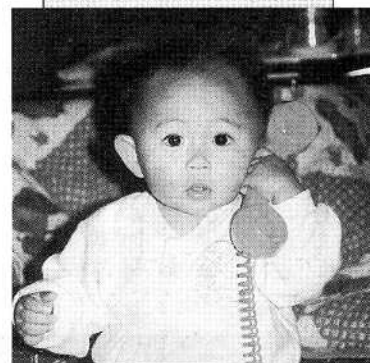
東白川村の皆さんこんにちわ。こもれびの館のスタッフの方々、大変お世話になっております。貴村を最初に訪れたのは昨年の十一月、がん封じ寺と松茸ご飯食べ放題ツアーで、まつたけご飯が、いつのまにかまつたけ食べ放題と伝わり、大慌てとなりました。再び村を訪れたのは、今年の五月。五平もちとわらび取り。抱えきれない程のわらびを無我夢中で取りました。三度目は九月の朴葉ずしまつりと陶芸教室。初めて触れた土に心をくすぐられました。四度目は「ぜび」と言われ、秋フェスタ'96に参加し、大盛況に圧倒されつつも、数々の農産物、木工用品などで帰りのバスの中は身動きさえできませんでした。何より感銘したのは、「うちのこの人形」で、当初の約束どおりペアではほほ笑みながら私を待っていてくれました。



秋フェスタ'96より



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」もみればホラ！
1歳のあの子の顔が...



▲村雲史渉ちゃん
(史朗さん・京子さん
＝柏本)

仲間をたずねて

このコーナーは前号まで、「サークル訪ねある記」として皆さんに親しんでいただきましたが、もっと細かな内容でお伝えするためにスペースを広げて今月号から「仲間をたずねて」と新たにスタートします。

今回は、ビーチバレーの水曜クラブを訪ねました。

このチームは、名のごとく毎週水曜日に小学校体育館で練習を行っています。

部員数は三十一名で、そのほとんどが家庭の主婦。その中でたった一人の男性、久須見の古田敬司さんも参加し、女性の皆さんに混じってボールを追っていました。チームの名付け親と



水曜クラブの皆さんは元気いっぱい！
やはりスポーツは楽しくなければ

いう古田さんは、「ほのぼのとしていいチーム、健康のためにもできるだけ続けたい」と話してくれました。

ビーチバレーは村外での大会は無く、月に一度の村内リーグ戦では、この和やかな雰囲気もそのときばかりは緊張の連続。しかし、練習は「楽しくやりたい」と館内は笑い声が響いていました。

みんな仲間だ!

消息

11月1日~11月30日

(敬称略)

●誕生おめでとうございます

(大明神) 長谷川正利 } かよ
育子 }

●おくやみ申し上げます

安江 司 76歳 (神付)
村雲 久夫 67歳 (西洞)

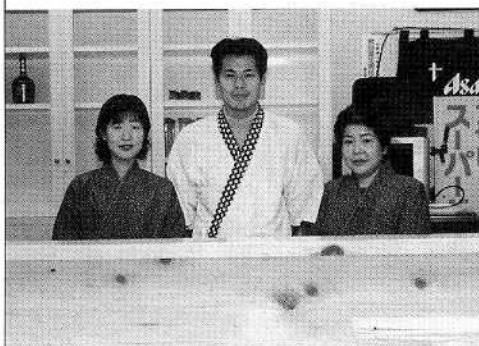
職場から

池之島

今回は、12月の忘年会シーズンに合わせて8日に新築オープンした陰地の池之島を訪ねました。

店内は、以前より広く、40人を収容できる舞台付きの大宴会場と小宴会用の座敷が一部屋、また、新たに居酒屋部門も開始。

「皆さんが気楽に立ち寄っていただける明るい店にしたい」とは、新築オープンと同時に三代目となった大坪七三男さん。七三男さんは自動車の修理工からの転職で、可児市の料理屋で1カ月間の修業を終えて三代目となり、「スパナを包丁に持ち替えて頑張ります」と張り切っていました。



今回は、十一月二十四日に挙式をあげ、日向に新居を構えた安江真博さん、里香さんご夫妻を訪ねました。

二人の出合いは、製材業を営む真博さんが、青年部として里香さんの働く商工会に入会していたのがきっかけ。「よく働く感心な人だな」とは奥さん



安江真博さん・里香さんご夫婦

ロポーズの言葉は、「結婚しようまいか」とご主人。「勘考しとくわ」が奥さんの返事だったそうです。三十歳までに結婚を」と考えていたご主人は、今年がちょうどその年にあたり、四年間の愛を育んだお二人は、晴れてゴールイン。明るい家庭でお子さんは三人が理想とか。

見た第一印象。奥さんは「愛想の無い人」とご主人を見ていたそうです。友だち同志で遊んでいるうちに、回りのみんなが盛り上げてくれて意識をしようになり結婚を決意したというお二人。プ

ホットアングル



をこんなに近くで見るのは初めてのようで、うれしそうに「そわそわ」と落ち着かない様子でした。

児童たちは、盲導犬のほとんどは、盲導犬

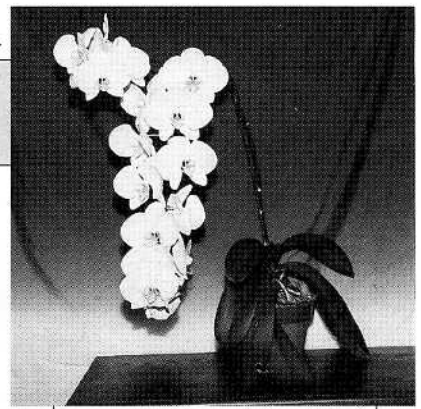
十一月十九日に高山市から視覚障害者の下梶均さんと盲導犬エールが二度目の来村。今回は、東白川小学校の福祉委員の皆さんが「他人の気持を思いやる心を持つ」と招いたものです。



下梶さんは、児童たちに障害者の人たちは大きなハンディを抱えていることをアピール。また、視覚障害者の人数に対して、盲導犬が圧倒的に少ないことを訴えていました。

質問のコーナーでは、「時間はどうして分かるか」など児童たちの素朴な疑問に、下梶さんはやさしく答えていました。

知ってほしい『生活情報』



17個も花をつけた胡蝶蘭。
大口：今井弘子さん

社協から

地域でささえあう
あったかいお正月
今月の一日より
歳末たすけあい募
金運動を展開して
おります。

皆様からお寄せ
頂いた善意の募金
は、社協役員およ
び児童・民生委員
によって援助を必
要とする方々にお
届けいたします。
なお、役場窓口
等にも募金箱を設
置しておりますの
で、ご協力をお願
いします。

課題を追う

村の元気は 若者の力から生れる

Ⅱ 若者定住対策 Ⅱ

村の施策の中で、近年「若者定住」という言葉が使われるようになりました。

人口の割合として高齢者が多くなり、若い人の比率が小さくなる現象は、現在の日本全体の姿ですが、このバランスが極端に悪くなると、地域の活力が失われ、社会が住み難くなります。これが究極の過疎です。

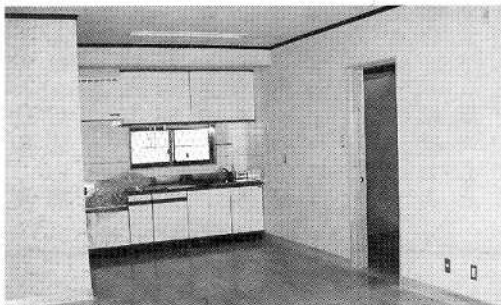
東白川村の場合は、まだそれほど極端な状態でないにしても、将来を予測すると決して安閑としてはおれません。若い人に一人でも多く村に住んでもらうための施策、それが若者定住対策です。

今年十二月、曲坂に村営住宅五戸が完成し、十二月十九日まで、入居者を募集しています。この住宅は特に若い人向きに造られたもので、外観、内装ともに若者の感覚にマッチするよう気を配りました。若い家族が入居し定住してくれることが期待されます。

村の中心的な産業である建築業の皆さんは、大工さんを養成するための職業訓練校を、白川町の皆さんと協力して開設することになりました。

校舎は坂の東の旧大山小学校校舎を活用し、平成九年四月から十二人の訓練生が入学してスタートします。(東白川村から二名)

これは、民間の活動を行政が後押しをする形の若者定住対策と言えます。



▼健康おやつ・芋羊羹▲

こもれびの館の職員が作って大好評の、繊維とビタミンCたっぷりのさつま芋羊羹の作り方。

(材料・さつま芋も500g、水500cc、砂糖150g、粉寒天4g、水飴大さじ1)

①芋は輪切り、厚目に皮をむき、水につける。

②蒸し器を熱して水にさらした芋を入れ、約10分間蒸す。

③ボウルなどを使って芋をつぶす。少し粒が残ったほうがおいしいという意見が多い。

④なべに水を入れ、粉寒天を煮溶かし、砂糖を混ぜる。

⑤混ぜながら約半量になるまで煮詰め、つぶした芋を加え練り込み、水飴を入れる。

⑥ほど良い型に流し入れ冷やしてから切り分ける。

▼緑茶の成分と その働き▲

大昔は薬だったお茶。今再び、健康飲料のトップになりました。

お茶の成分とその作用。
カテキン類

発ガン抑制、抗腫瘍、血中コレステロール低下、血圧上昇抑制、血糖上昇抑制、抗インフルエンザ作用、抗酸化作用、抗菌作用、虫歯予防、口臭予防など。

カフェイン

疲労感や眠気の除去、利尿・強心作用。

ビタミンC

ストレス解消、風邪予防。

ビタミンE

抗酸化作用、老化抑制。

フラノボイド
血管壁強化、口臭予防作用。

カロチン

発ガン抑制作用。
その他数種的作用。



行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会】

現金 2 万円＝松岡慶和 (岐阜市)

現金 1 万円＝やんちゃ会

現金 20 万円＝村雲成治 (西洞)

古切手＝古田芳一 (平)

古切手＝安江波津子 (日向)

古切手＝安江啓子 (上親田)

古切手＝匿名

古切手＝村瀬スミエ (平)

【社会福祉指定寄付】

現金 29,570 円＝秋フェスタ '96

参加者

現金 5 万円＝安江保 (神付)

現金 75,210 円＝東白川村婦人の会

越原支部

現金 5 万円＝安江コトミ (曲坂)

【東白川小学校】

花の苗 300 本＝今井正三郎 (西洞)

けやきの苗 241 本＝木楽会 (下呂町)

竹ぼうき 36 本・雑巾 149 枚＝

老人クラブ高砂会

【神土保育園】

けやきの苗 33 本＝木楽会 (下呂町)

さつまいも 50 kg＝田口貞造 (中通)

【越原保育園】

けやきの苗 37 本＝木楽会 (下呂町)

【五加保育園】

けやきの苗 23 本＝木楽会 (下呂町)

もみの木 1 本＝熊崎進 (下野)

痴呆予防のための 8 ポイント

- 1、血管の老化を防ぐ (高血圧の予防が第一)
- 2、食生活に気をつける (料理はうす味に良質の蛋白質、ビタミンの豊富な野菜くだものを)
- 3、十分な運動をする (血管の老化防止)
- 4、いきいきとした生活を (気持ちに張りをもたせる)
- 5、よいコンディションを保つ (病気、骨折、その他で寝たきりになる原因をつくらない)
- 6、知的能力をみがく (読書・手紙を書く)
- 7、人との関係を大切に (孤独に陥らないためにも、これまでの人間関係を保つように努める)
- 8、生きがいをもつ (趣味やボランティアなど生きがいを見つけ、生活を充実させる)

保健婦だより

基礎年金番号通知書は

大切に保管しましょう

平成九年一月一日から基礎年金番号制が実施され、十二月初旬から個人あてに基礎年金番号通知書が届きます。

国民年金に加入の方は、社会保険庁から直接郵送で、その他の年金に加入の方は各事業所から渡されますので、今、所持されている年金手帳といっしょに、保管してください。

現在加入している年金以外に加入したことがある方は、添付されている「照会」のハガキを返送してください。受給者の方へは新しい年金証書が届きますので、今までの証書と一緒に保管してください。基礎年金番号通知書や年金証書が違う番号で二通以上届いた方は、届け出が必要ですので、役場住民課有線二一六二、または美濃加茂社会保険事務所にお問い合わせください。

病氣見舞いのお返しは

廃止にご協力を...

知り合いが病氣やケガをしたときには、お見舞いをするのが人情です。

そして、全快したときにはお礼をしますが最近、礼状といっしょにテレホンカードなどの「快気祝い」の品が同封されることが多く見受けられるようになりました。

先に行われた区長・組長会議で、この「快気祝い」の廃止が提案され、自粛の申し合わせがなされました。

このような慣習は、しだいにエスカレートし、品物が高額になっていきます。

人はいつ病氣やケガをするかわかりません。「お互いさま」の気持ちをもって、御礼状の片隅に「申し合わせにより、快気祝いの品は控えさせていただきます」と一言書き添えて、品物の同封廃止にご協力をお願いします。

お薬の受領は時間内に

病院からお願い

東白川病院では、薬の紛失や間違いを防止するために、十一月から診療時間外は投薬患者さんの薬の受け渡しを事務当直室で行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。事務当直室は、診療棟一階東側 (せせらぎ荘との通路側入口を入ってすぐ右側) です。

【受付に図示してあります】

投薬の受領はできるだけ診療時間内にお願います。診療時間内は、受付で薬をお渡しします。診療時間外は、受付で薬をお渡しします。

急患の場合は通常診療が遅れる場合も...

診療時間内において、急患があった場合には、診療や検査が大幅に遅れる場合がありますので、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、都合の悪い方は再予約の手続きを取ってください。

輝く田舎の『文化情報』



天使の歌声が響きます。

来年三月二日、はなのきホールに、天使の歌声が響きます。

彼女は今二十二才。現在は名古屋に住み、名古屋音楽大学に通うかたわら各地でコンサート活動をしています。平成二年の紅白歌合戦に史上最年少で出場、翌年モンゴル文化芸術巧労賞受賞、昨年は広島で平和記念コンサートなど、まさに旬の人です。

そのオユンナが、来春はなのき会館へやって来ます。

モンゴルの大草原に輝く太陽のような輝く瞳と、澄み切った歌声で聴く人を取りこにします。

天使の声、オユンナは一九七五年、モンゴルの首都ウランバートルで生まれました。八年前の名古屋デザイン博の世界子ども音楽祭で、自分で作曲した「母の子守歌」でグランプリを受賞。



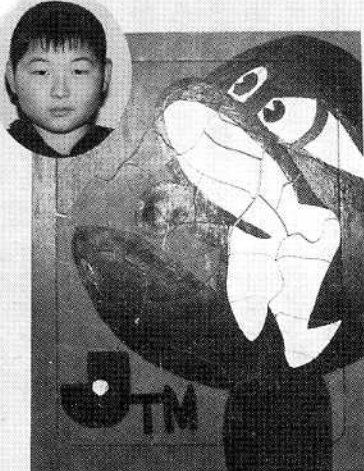
12月2日、村は一面雪化粧

旬の話 しゅん オユンナ

私の作品



▶楽しい仕組みで「伸びたり縮んだり」
安江可奈子さん（日向）
東白川小学校2年生



▲「木で作ったパズル」
安江健策さん（日向）
東白川小学校5年生

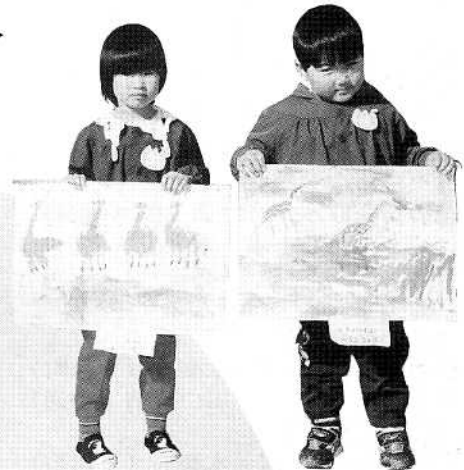


▲陶芸「湯飲み茶わん」
安江よしのさん（大口）
高齢者生きがい事業



▲陶芸「湯飲み茶わん」
田口きの江さん（神付）
高齢者生きがい事業

「動動物園」▶
神土保育園年長組
左から
今井香保理ちゃん
（平）
安江凌ちゃん
（下親田）



▲篆刻「蔵書印」
安江絵美さん（栃山）
東白川中学校3年生



◀篆刻「蔵書印」
安江晴香さん（大明神）
東白川中学校3年生

心のオアシス

東白川村百科

はいぶつきしゃく
廃仏毀釈

東白川村の事を語り始めるとき、最も特徴的な出来事として「廃仏毀釈」を後に回すことはできません。

とは言え、廃仏毀釈は東白川村にのみ起きたものではありません。明治初年、政府の「神道を国教とする」という施策によって日本全国で仏教の抑圧、神仏分離を伴う「毀釈」が行われました。

「毀釈」とは釈迦の教えを棄てるという意味ですが、文字は「棄」ではなく、こわすという意味の「毀」が使われ仏教の排斥がより強調されています。

廃仏毀釈のもとになった思想は、平田篤胤という人が興した平田国学でしたが、その信奉者であった青山景通、直道親子が、当時この地方を納めていた苗木藩主への影響力が大きく、特に直道が若くして大参事という重職に就いてから、苗木藩内に徹底した廃仏毀釈を断行しました。

寺はもとより、仏壇仏像など仏教に関わるものすべてを捨て去り、打ち毀し、神式に改めさせられました。

しかしその後各地で仏教が復活する中、我が村には神道が定着し今日に至っているのです。

俳句

短日の昼を灯して商い
人の世の儚なきいのち露の秋
深む秋あの顔この面霊祭り
湯けむりのしづかに流れ宿の秋
銀杏並木落葉重なる道の巾
小雪舞う足早に暮る窓の外
あの蟬鳴いづこの原で果てたやら
紅葉に衣かへする四方の景
秋めくやゲートボール熱と空の青
鼻風邪を兼ねて留守番ひとり座す
落葉松の浮上にかへる木曾路ゆく
香る菊恩師の軒に今盛り
幸せは大根汁の煮ゆる音
大小の漬物桶へひとり言
吹きたまる落葉色あせ晴れつゞく
雨晴れて風おだやかに薫紅葉
宣伝カー散る紅葉を乗せて過ぐ
柿の葉や冬芽にたくし舞い落ちぬ

日向	安江	一滴水
栃山	安江	市助
神付	村雲	とみ子
下野	安江	乙村
栃山	桂川	喜郎
平	安江	武子
西洞	河田	あや子
曲坂	菊田	清美
中通	村雲	みか子

あなたも作品をお寄せください—初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の20日までに神土河田重喜宛に出して下さい。

銅鐸の出土へ落葉そっと散る
紅葉散る産業祭のテント村
古い碑の垣彩なくて薫紅葉
柊の花の香灰か窓明り
美濃と木曾紅葉つなぎ山つなぎ
ひきがへる道の真中に動じ居ぬ
縁先へ天よりの便り黄落す
通学生のおじき明るし落葉みち

本

「ちっちゃな サンタさん
ガブリエル・パンサン 著

きょうは12月24日、とてもさむいおひるすぎ。たかいそらのおうちから…。わたしみちゃった。サンタさんだわ。ほんとサンタさんよ！

サンタさんプレゼントはなに？

クリスマスの夜に親子で読んでみてはいかがですか。

「生きる勇気が湧いてくる本」遠藤 周作 著

私は自分のなかのいろいろなチャンネルをまわし、人の二倍を生きた気持ちになっている。マイナスをプラスに…。惜しまれつつ急逝した遠藤周作の心に残る最終のメッセージです。そんな著者のメッセージからたくさんの生きる勇気をもらってください。

日向	田口	秋映
平	安江	すみ
平	安江	敬一
西洞	河田	重喜

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

ちっちゃな サンタさん

ガブリエル・パンサン

し せ お ら

連絡
募集
行事

岐阜県学生会館

入寮者募集

財団法人濃飛会では、岐阜県学生会館への入寮者を募集します。

■応募資格／岐阜県出身者または岐阜県人の縁故者で東京および近県の大学に合格決定した男子学生であって、一年生を主とします。

■募集予定人員／約四十名

■くわしくは／岐阜県総務部秘書課 ☎〇五八―二七二―一一一一（岐阜県庁）

自衛官募集中！

～二十一世紀へ翔る～

防衛庁では、自衛隊生徒の募集を行っています。

応募資格は、日本国籍を有し、平成九年四月一日現在十五歳以上十七歳未満の

男子で中学校卒業（平成九年三月卒業見込みの者を含む）

■採用予定数／陸上：約二百五十名、海上：約六十名、航空：約五十名

■願書受付期間／十一月一日～九月一日

■一次試験／九月一日

■試験場所／多治見市文化会館（予定）

■お問い合わせ／役場総務課有線五一四八もしくは自衛隊美濃加茂事務所 ☎〇五七四―二五―七四九五

子育て・教育に

関する悩みごとは

いま、一人で、または家族だけで悩んでいませんか。小中学生の不登校問題をはじめ、学習、部活動、進路、性的悩みなど、さまざまな悩みについて専門の相談員が電話または来所による相談に応じます。相談は無料で、秘密は厳守します。どなたでもお気軽にご利用ください。

■場所／加茂郡教育研究所教育相談室（川辺町下麻生）

一九一五

■時間／月～金曜日午前十時～午後五時※時間外でも事前に連絡くだされば相談に応じます。

■電話／〇五七四―五三―六七八三

知っていますか？

あなたの職場の最低賃金

岐阜労働基準局では、「岐阜県最低賃金」と「産業別最低賃金」の改正を行いました。

①岐阜県：日額五千二百二十円
時間額六百二十八円
②紡績業：日額五千三百三十円
時間額六百四十二円
③陶磁器・同関連製品耐火物製造業：日額五千四百八十八円
時間額六百八十六円
④電気機械器具製造業：日額五千四百九十五円
時間額六百八十七円
⑤自動車・同付属品製造業：日額五千七百六十七円
時間額七百二十一円
⑥航空機・同付属品製造業：日額六千二百五十四円
時間額七百八十二円

共通の適用除外は、①十八歳未満又は六十五歳以上の

夫婦間における子の引渡しを巡る争いについて

夫婦間における子の引渡しを巡る争いは、家庭裁判所には、おもに子の看護に関する処分事件として申し立てられます。

形式的には夫婦間の争いですが、紛争の中にいる子供は、両親の間で感情が不安定になり体調を崩す場合があるため、子どもの心と与える影響を最小限にとどめる必要があります。

家庭裁判所では、専門家である家庭裁判所調査官を活用するなどして、両親の争いが子どもの心と与える影響に配慮しながら、子どもの福祉にかなった解決に向けて努力しています。

■お問い合わせ／岐阜家庭裁判所事務局総務課 ☎〇五八―二六二―五二二一



こぼれ話

頭の疲れを治すために眠るの、だいたいですが、これは

大変な間違いです。▼私たちは運動するために食事をすると同じように、脳を健康にして頭を働かすために眠るということは、脳にとって積極的な意味を持っています。▼人間の赤ちゃんはどの動物の赤ちゃんよりも未熟な状態で生まれてきます。中でも脳が一番未熟で、生まれてからの脳は身長や体重よりも急ピッチで成長します。▼生まれた時の脳の重さは四百g。それがみるみるうちに大きくなり、六カ月で二倍の八百g。七歳ころには、大人の脳の重さ（千三百五十g）の九割にもなります。▼このような急ピッチの成長は脳を流れる血液から栄養分をとって行われているのですが、実は先に言ったように、脳が働きを休めて眠っている時に行なわれているのです。▼「寝る子は育つ」と言われるように、からだだけでなく、脳も眠ってどんどん育っているわけです。（T）



再生紙を使用しています